

原村商工業振興審議会 会議録

令和元年 11 月 20 日 (水)

原村役場 201 会議室

午前 9 時～10 時 30 分

出席 五味武雄村長
委員(8 名) 松下浩史、宮坂早苗、篠原勝美、
小平春仁、山崎義夫 小平恒夫
長田秀夫 秋山静男
事務局 清水商工観光課長、菊池係長、両角

1. 開 会 …事務局

2. あいさつ …五味武雄村長

3. 委嘱状交付

4. 自己紹介

5. 正副会長選出

事務局：何か案はあるか。

委員 A：昨年と同じ方々ではどうか。

一 同：異議なし

小平恒夫委員が会長 松下浩史委員が副会長 となる

五味村長退席

6. 会議事項

小平会長が議長

1) 原村企業チャレンジ補助金の審査について

1. ペンション a (店舗・会社名等はすべて仮名)

—ペンション a 申請者よりプレゼン後、質疑応答

委員 A：年々宿泊客が増加している様だ。

申請者：初年度は知り合いなどの紹介のみであったが、次年度はインターネットサイトへの登録、ホームページの開設等で増加した。感覚的には初年度を 1

とすると、次年度が 3、その次年度が 5 くらいで増加している。

議長：他にあるか。

委員 B：B&B ということだが、他のペンションの夕食の提供はどの様になっているか。

申請者：他のペンションは基本的には一泊二食であり、場合によって素泊まりか一泊一食か選べる。今のところペンション a は、飲食店への送客を目的に素泊まりと一泊一食のみだ。

委員 B：どんな店を紹介するのか。

申請者：近隣の店の他、車の方には実際に食べておいしいと思った店を紹介している。中には調べてくる客もいる。

委員 B：自由に選んでもらっているということか。

申請者：はい。ただ、子ども連れの方には不便をかけているので、これから一泊二食を提供できるようメニューの開発を急ぎたい。ペンションの夕食はコース料理が多いので、そこを新しいものにしたい。

議長：他にあるか。

委員 C：リノベーション、ワークショップや、アウトドア団体の受け入れに関して、新たに始める事業はどれか。

申請者：これらすべてが新しく始めてきた事業である。プラスアルファの方向性としては、八ヶ岳の環境の良さを伝えたい。土曜、日曜の一泊二日で帰ってしまう方が多い。それでは良さが伝わらない。最低でも二泊三日をメインにした長期滞在可能な部屋を用意した事が、新しい方向性だ。

議長：他にあるか。

委員 D：やっていること、やっていくことが多岐にわたるので、どんな割合で事業を進めるのか。メインで行う事は何か。お教え願いたい。

申請者：個人の不特定多数の、多地域の宿泊が増えている。その中で、特に夏の「星空の映画祭」に合わせた宿泊が増えているので、それをきっかけに他の季節の良さも伝えて次につなげたい。

また、子どもたちが自然環境の中で経験豊かな大人たちと過ごすプログラムを大切にすることと、テーマを持った宿泊を進めていきたい。

議長：他のペンションのオーナーと違った切り口がある様感じた。こちらが勉強になった。他に無い様なので、質疑を終了とする。

・申請者のプレゼンに関する審議

議長：プレゼンテーションに関して、審議を始める。意見のある方。

委員 C：これから改修が必要になるペンションが増えるだろう。その中で、起業という観点か、全体の基本的な設備等の改修工事という観点のどちらに重きを置くのか、事務局に聞きたい。

事務局：あくまでも改修等の中身ではなく、どのようなコンセプト、計画でペンションを運営していくのか。そういった観点で先進性、独自性があるのかを判断してほしい。

委員 E：私の知る範囲では申請者は自らの企画に関して、アウトドア関連の経験もあり、リノベーションを含めてかなり優れている。泊まって終わりではなく面白い企画をする。現在ペンションでここまで企画できる方は少ないので、ペンションビレッジにとって欠かせない人材だと感じる。

また、B&B は今日の時代にあった営業であり、ペンション a から多くの客が他の飲食店を訪れている。プレゼンテーションの内容に関して、きちんと実践されていると感じる。さらに広がれば地域の活性化につながる。

委員 F：新しい切り口で事業を行っていると感じた。

議長：交付することに問題はなさそうなので額を決めたい。

委員 B：外へ広げるという考えがとても良い。ペンションには、車で行って引き籠ってしまう印象があるが、ペンションビレッジ内で客が行き来するイメージがもっと起きてくれば良い。そんなことを連想させる事業内容で好印象を受けた。

議長：他にあるか。

委員 C：今後、改修が必要なペンションが増えると思う。事業に関連した必要な設備の購入、改修などは理解できるが、今後補助金の対象にしていくのか慎重な審議が必要だと感じた。

知識やコンセプト、3年間の実績は申し分ない。子ども向けや体験、長期滞在に向けた整備は必要なことであるので、良いと思う。

事務局：ただの改修に補助金は交付できない。しかし先進性、独自性のある事業内容であればそれに関連した設備等の改修、購入費として補助金を交付することは問題ない。提出された事業内容に関して審議いただきたい。

事務局：完璧な計画ならば 50 万円、あとひとつここだけが足りないという計画には 30 万円、計画に関しては今ひとつだが、ぜひ頑張ってもらいたい場合は 10 万円の様に一応の目安を設けている。

議長：それでは金額に関して何かあるか。

委員 C：計画も素晴らしいし、観光の活性化に期待も込めて 50 万円を出すべき。

委員 A：計画の内容は独自性もあり素晴らしいと感じたが、著しく新規性があるわけでもない。将来性を考えた時に満額は多すぎると感じた。30 万円でも十分では。

委員 E：現在ペンションビレッジは高齢化も進み、新規で始める方がとても貴重な存在であり、ペンションビレッジの将来性という意味で十分期待できると思う。引き続きの期待も込めて満額の 50 万円出すべき。

委員 B：50 万円で賛成。これからペンションの中にレストランがさらに増えて行く方向になれば素晴らしい。

委員 F：実際に様々な活動をしていく方は貴重である。計画内容の具体的なプレゼンテーションをした方は初めてだと記憶している。ぜひ応援したい。

議長：異議なしならば 50 万円の交付としたいが。

一同：異議なし。

2) 原村商工業活性化補助金の審査について

○要綱第 3 条 (1) 店舗・工場棟・宿泊棟の新築及び改築について

1. ペンション b の自動火災報知機、消火設備、新設・改修について

—事務局から資料説明—

委員 A：自動火災報知機は直接的な生産性はないのではないか。

事務局：要望もあり自動火災報知に関しては対象になった。

議長：特に意見なければ承認とする。

2. ペンション c の客室等の改修及びギャラリー新設について

—事務局から資料説明—

議長：特に意見なければ承認とする。

3. ペンション d のトイレ改修について

—事務局から資料説明—

議長：特に意見なければ承認とする。

4. ペンション e の厨房換気扇の更新について

—事務局から資料説明—

委員 A：施設の改修とは判断できない。価格的にも交付できない。

議長：異議がなければ、不承認とする。

5. レストラン f のテラス屋根改修工事について

—事務局から資料説明—

議長：特に意見なければ承認とする。

6. ペンション e の自動火災報知設備更新および増設

—事務局から資料説明—

議長：特に意見なければ承認とする。

○要綱第 3 条 (2) 償却資産の更新又は新規導入

1. ペンション e のオイルタンク及び防油堤の購入について

—事務局から資料説明—

議 長：特に意見なければ承認とする。

2. 有限会社 f の画像寸法測定器の購入について

※自社の審議のため委員 G 退出

—事務局から資料説明—

議 長：特に意見なければ承認とする。

3. 有限会社 g の円等研削盤の購入について

—事務局から資料説明—

議 長：特に意見なければ承認とする。

4. 有限会社 h のフェラーバンチャーの購入について

—事務局から資料説明—

議 長：特に意見なければ承認とする。

5. 有限会社 h の 2 t ダンプの購入について

—事務局から資料説明—

議 長：特に意見なければ承認とする。

3) 制度資金の申請状況について (R1.10 月末現在)

—事務局から今年度の状況を資料説明—

4) その他

4. 閉 会